

青少年赤十字新聞 第9号 やまぐち版 平成28年10月13日発行

夏休み期間中、JRCの各種主要行事を実施しました！

今年の夏、今年度の主要行事となる、韓国・蔚山(ウルサン)広域市青少年赤十字メンバーとの国際交流事業、各校リーダーシップ・トレーニング・センターを実施しました。

さまざまなプログラムの中で、「気づき・考え・実行」、「国際理解・親善」を実践！参加された各校JRCメンバーたちの夏の一コマを紹介します！！

新規事業！

山口県・韓国蔚山広域市青少年赤十字国際交流事業

青少年赤十字の実践目標のひとつである「国際理解・親善」の充実・強化を目的として、山口県と大韓民国蔚山(ウルサン)広域市の青少年赤十字メンバーが相互交流を行う取り組みをこの夏から開始しました。この事業は今年度から4カ年計画(平成28年～31年)での実施となり、初年度となる今年は、中・高校生メンバー同士の交流を行い、山口県へのメンバー受入れの後、韓国への派遣を行いました。

8月2日～7日(5泊6日) 山口県支部受入事業

中学生3名、高校生3名、指導者3名が来県！



村岡山口県支部長(知事)表敬訪問。

山口県受入プログラム

8月2日	来日(福岡空港着) 山口市内観光 山口県支部長表敬訪問 赤十字施設見学
8月3日	高校学習交流会
8月3日～5日	中学校リーダーシップ・トレーニング・センター
8月5日～6日	ホームステイ
8月7日	帰国(福岡空港発)



山口市瑠璃光寺にて。



山口赤十字病院、血液センターを視察。

高校学習交流会



内容は高校メンバーが企画し、レクリエーションや英語での折り紙、学校生活についての情報交換などを行いました。



中学校リーダーシップ・トレーニング・センター



中学生とリーダーについて学ぶ体験宿泊学習に参加。

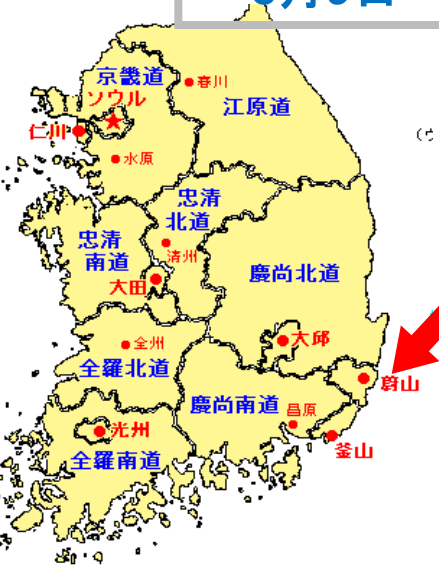


ホストファミリーとの記念撮影。

8月9日～16日(7泊8日) 韓国・蔚山派遣事業

蔚山(ウルサン)広域市の紹介

人口: 約120万人
 地理: 日本から約160km(釜山から北へ70kmの位置)。
 4区1郡。区は工業都市、郡は都市・農村複合都市。
 日本海に面しており、捕鯨が盛ん。
 自動車の生産高国内1位、現代自動車など現代グループ企業の町。
 姉妹都市: 山口県萩市、熊本市。



蔚山派遣プログラム

8月9日	出発(関釜フェリー)
8月10日	入国 赤十字施設見学 クジラ博物館見学
8月11日～12日	RCYキャンプ※
8月12日～13日	伝統文化体験 ホームステイ
8月14日	蔚山支社での交流プログラム (韓国・日本の料理作り、日本文化体験交流、救急法等)
8月15日	出国(釜関フェリー)
8月16日	帰国



大韓赤十字蔚山広域市支社

※RCY=Red Cross Youthの略で、青少年赤十字の意味



韓国・蔚山広域市派遣メンバー

岡西 利良子(下関南高校3年)
 櫻井 凜(下関西高校2年)
 中川 咲夏(宇部西高校2年)
 松本 脩平(宇部鴻城高校2年)
 苅北 杏菜(大殿中学校2年)
 中村 美宥(国府中学校2年)
 厚東 政人(下関市立関西小学校校長 * 団長)
 中村 三雄(山口市立大殿中学校教諭)
 本田 絵里(日赤山口県支部職員)

出発式(8月9日)。

日赤山口県支部 藤部副支部長から激励を受けて下関港を出発。



受入プログラムで会ったメンバーとの再会もあり、お互い初日からすぐ打ち解け、血液院やクジラ博物館を見学。歓迎の夕食会もとても盛り上がりしました。

RCY(Red Cross Youth)キャンプ



蔚山支社での交流プログラム



日本から持参した道具で、茶道と書道などを体験。



全員で韓国料理 トッポギと
お好み焼きを作って試食。

参加メンバーの感想(一部抜粋)

- ・「出会い」の大切さを再認識し、出会う事で考え方や価値観が大きく変わりました。(岡西)
- ・ホームステイで学んだ、人を思いやる気持ちを日本でも大切にしたいと思います。(櫻井)
- ・初めは不安もありましたが、参加することで視野が広がりました。(中川)
- ・毎日が充実していて、多くの事を学びました。ニュースの情報とは違い、韓国のイメージがとても良くなりました。(松本)
- ・実際に足を運んで、更に韓国に興味を持ち、もっと学びたいと思いました。(苅北)
- ・優しく接してくれる人が多く、もっと韓国語を知りコミュニケーションをとりたいと思いました。(中村)

リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校:7月24日(日)~26日(火) 2泊3日
4校(玖珂中央、周南市立菊川、湯田、関西)から28名のメンバーが参加!



今年の夏も十種ヶ峰青少年自然の家にてリーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)を実施しました。

参加メンバーたちは、集団宿泊のなかで、「気づき・考え・実行する」力を育むさまざまな学習・体験を実践し学校を越えて友情を育みました!

また、中学校トレセンには韓国メンバーが参加し、交流を行いました。



初日のレクリエーション。
緊張もすぐ解け、仲間づくりできました。



赤十字紙芝居づくり。
全員で相談しながら作成中!



学校紹介の一コマ。
組体操の扇を披露!



十種ヶ峰の自然の中での、フィールドワーク(2日目)。
コース内にはさまざまな課題が待ち受けています。チームワークを発揮して、ゴールを目指します!
得点第1位のAホームルームには、スタッフ手作りの優勝木が授与されました!



ワークショップ(3日目)。

学校に帰ってからの活動計画づくりの様子。トレセンで学んだことを学校へ持ち帰り、実践!
各校から、「トレセンで習った応急手当をみんなに教える(湯田)」、「元気よくあいさつできる明るい学校を目指す(関西)」、「トレセンメンバー中心に閉校記念掲示を計画(玖珂中央)」、「登下校中の事故やけがを減らす安心・安全の呼びかけ(周南市立菊川)」の計画について発表がありました。

中学校:8月3日(水)~5日(金) 2泊3日

4校(国府、大殿、平川、鴻南)から

26名のメンバーが参加!



初日夕方から、韓国の青少年赤十字メンバーが合流。日本のトレセンを体験しました。



フィールドワーク(2日目)。コース内の各関所では、いろいろな課題がメンバーを待ち受けます…。各班で意見を出し合いながら、問題解決に挑みました!



最後は、応急手当を実施。
けがで苦しむ先生を救助!

終了後...
画像を見ながら振り返り。
先生方からの講評を聞き、笑顔があふれました。



日本語で書かれた
メッセージも!

ワークショップ発表(3日目)。

トレセンを通して学んだことを各校で実践するための活動計画づくりを実施。

トレセン期間中の活用した「掲示板」の使用を計画。意見を出しやすくする工夫や、働きかけをについて発表。

韓国メンバーは、今回のトレセンで学んだことや日本のメンバーへのメッセージをまとめてくれました。

高等学校:8月5日(金)~7日(日) 2泊3日

6校(山口、山口県鴻城、萩商工、宇部西、豊浦、響)
から13名のメンバーが参加!



高校のトレセンでは、赤十字の精神や活動について、より深く学んでいきます。

初日は、日ごろの自分たちの活動をふせんに書き出し張り出して、実践目標のどの活動であり、こういったものが多いのか情報共有を行い、検証しました。



防災ワークショップ「竹ひごタワー」を実施。
災害時のコミュニケーションの大切さについて学びました。

V・S(ボランティア・サービス)活動の一コマ。
各自がニーズを考え、実践しました。



「人道」の敵とは? 寸劇での表現に挑戦!

実技研修。
POP文字の書き方と、ミサンガの作り方を学ぶ様子。



フィールドワーク(3日目)。

この日は急な天候悪化のため屋内施設を使って関所を設置。先生方の工夫によって、難易度の高い課題も設けられ、チームワークが試されました。

また、本来は4日間(3泊4日)の予定でしたが、この天候の影響により、急遽1日短縮での開催となりました。

高校メンバーの活動紹介 ～防災・福祉学習の取り組み～

宇部商業高校JRC部



7月19日、ハイゼックス(非常用炊出し袋)を使用した非常食の体験を実施。
自分たちで栽培し収穫したジャガイモを使ったカレー作り(50食)を行い、全員で試食しました。

西部地区リーダーシップ・トレーニング・センター



下関地区の高校連絡協議会が主催する1泊2日(8月11日～12日)のトレーニングセンターで、障害者スポーツの研修を実施。パラリンピックの競技種目でもある、「車椅子バスケットボール」と「ボッチャ」の体験を5校23名のメンバーが行いました。

～いのちを救いたい！思いが集結！～ 第4回山口県赤十字救急法競技大会開催

ワールド・ファースト・エイド・デー(世界救急法の日)の関連行事として、今年度第4回目の「山口県赤十字救急法競技大会」を9月11日に周南市新南陽ふれあいセンターで開催しました。

この大会では、普段赤十字が広く普及を行っている心肺蘇生や応急手当の適切さをトーナメント形式で競技として競い、今回は県内から27チームが出場。大学生や社会人チームとともに、県内の加盟中学校・高等学校からは、過去最高の11チームのエントリーがあり、熱戦が繰り広げられました！



心肺蘇生の部
(写真は宇部商業高校チーム)



応急手当の部
(写真左：山口県鴻城高校チーム、写真右：南陽工業高校チーム)





宇部鴻城高校チーム
特別賞を受賞！



防府市立小野中学校チーム
先生との合同チームで特別賞受賞！



防府高校チーム
応急手当の部で優勝と第3位を獲得！



宇部商業高校チーム
心肺蘇生の部で第3位を獲得！

各チームとも練習がしっかり行われており、加盟校からたくさんの入賞チームが出ました。
リベンジを果たせたチーム、悔し涙を流したメンバーの姿もあり、年々レベルの高い戦いとなってきています。
来年度もたくさんの加盟校からのエントリーをお待ちしています！

山口県支部からのお知らせ

①活動助成について

各校での赤十字活動の実施に伴うメンバー数による助成を行っておりますが、現在活動計画中で助成を希望される園・学校がありましたら、『平成28年度青少年赤十字活動助成要綱』に従い、申請書の提出をお願いいたします。



②青少年赤十字登録申込書の提出について

青少年赤十字加盟継続に必要な、「青少年赤十字登録申込書」を、まだ提出されていない園・学校につきましては、提出をいただきますようお願いいたします。 ※毎年提出が必要になります。

いずれも、お問い合わせ ・ 提出先は 日本赤十字社山口県支部 事業推進課までお願いします。

各園・校の取り組みについて、情報をお待ちしています！どしどしお寄せください！

【連絡先】日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口市野田172-5
TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 E-Mail jrc@c-able.ne.jp